

達のシミュレーションによる研究は、その時点では、誰も実行可能と思わなかった独創的な研究であり、高く評価される。その結果、CISK(第二次条件付き不安定)的な擾乱に関しては、① いわゆる昔から知られている積雲対流、② メソスケールに組織化された対流、③ メソスケールの対流の集合体としてのレインバンドやクラスターなど、そして④ レインバンドの集合体としての台風や熱帯低気圧、偏東風などの熱帯擾乱、という4つの階層構造が存在することを主張した。また、それらの結果に基づき、積雲対流は間接的に扱い、メソスケールの積雲対流の非静力学的3次元モデルを開発し、数値実験を通して熱帯擾乱の再現に成功した。これらの研究は、現在活発に行われている非静力学近似を用いたメソスケール現象の研究につながる重要な貢献といえる。また、積雲対流の組織化に関するダウンドラフトやコールドプール、重力波の役割

などの重要性を指摘した。これらは、今日の研究でも活発に議論されているテーマであることに注目する必要がある。このように、山岬会員は、熱帯擾乱の生成・発達に関して、数値実験を軸として深い考察に基づきながら、一つ一つ問題点を着実に解明してきたといえる。

気象研究所から東京大学に転勤した後は、引き続き研究に邁進するとともに、後進の指導にも力を入れた。また、その研究成果は、研究論文ばかりでなく解説書や教科書などを通して公表されている。

以上のように、山岬会員の熱帯擾乱に関する着実に継続的な研究成果と、その研究に基づく解説書・教科書は気象学の進歩に大きく貢献したものと考えられる。

以上の理由により、日本気象学会は山岬正紀会員に藤原賞を贈呈するものである。

## 2002年度島津賞の候補者推薦要領および島津科学技術振興財団研究開発助成の募集要領

標記の賞・助成は島津科学技術振興財団が運営しているものです。興味のある方は以下の要領で推薦・応募して下さい。

### 1. 島津賞

#### (1) 表彰の対象

科学技術、主として科学計測およびその周辺の領域における基礎的な研究において、近年著しい成果をあげた功労者

#### (2) 表彰の内容

賞状、賞牌、副賞賞金300万円

#### (3) 表彰件数

1件

この賞の応募には学会の推薦が必要です。気象学会では、7月末ごろに「学会外各賞候補者推薦委員会」を開催して推薦候補者を選考する予定です。その際の参考にするため、推薦するにふさわしい方をご存じでしたら、簡単な推薦理由を添えて2002年7月中旬までに気象学会(右記連絡先)あてお知らせ下さい。

### 2. 島津科学技術振興財団研究開発助成

#### (1) 助成の対象

科学技術、主として科学計測およびその周辺の領域における基礎的な研究

#### (2) 応募の資格

原則として、国内の研究機関に所属する45歳以下の新進気鋭の日本人研究者

#### (3) 助成金額

総額800万円、1件につき100万円以下

この助成の応募には学会の推薦は必要ありません。詳しい応募要領や応募用紙は

<http://www.shimadzu.co.jp/SSF>

からダウンロードできます。また気象学会にあります。応募したい方は、各自で書類を入手の上、上記財団に直接送付して下さい(2002年9月30日必着)。

**連絡先:** 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-4  
気象庁内日本気象学会  
学会外各賞候補者推薦委員会